

指標種	コアエリア 保全	コアエリア 回復	バッファ ゾーン	コリドー (移動経路) 保全	コリドー (移動・分散経路) 回復
クマ類、イヌワシ、クマタカ	■*		■	→	→
ガン類	●	○		→	→
ツル類	◆	◇		→	→
シギ・チドリ類	●			→	→
ウミガメ類	○			→	→
海棲哺乳類	△		○	→	→
海鳥	■			→	→
アユ等 生活史に合わせた魚類の移動が可能				→	→
希少な種（絶滅危惧Ⅰ類・Ⅱ類の種） 希少な種が10種以上確認 されているメッシュ	□				
希少な生態系 自然林、自然草原、干潟、落葉 広葉樹サンゴ生息域、マングローブ林、 自然海岸 オオタカやサシバのいる里地里山	■	■			
土地利用状況** 農耕地、二次林、人工林等 市街地等			■	■	
暖流系の海流（黒潮など） 寒流系の海流（親潮など）				→	→

※図化にあたっては、希少な生態系を優先して図化した。

**◎農耕地、二次林、人工林等：植生自然度2~8（クマ類、イヌワシ、クマタカのコアエリア、バッファゾーン以外）

市街地等：植生自然度1

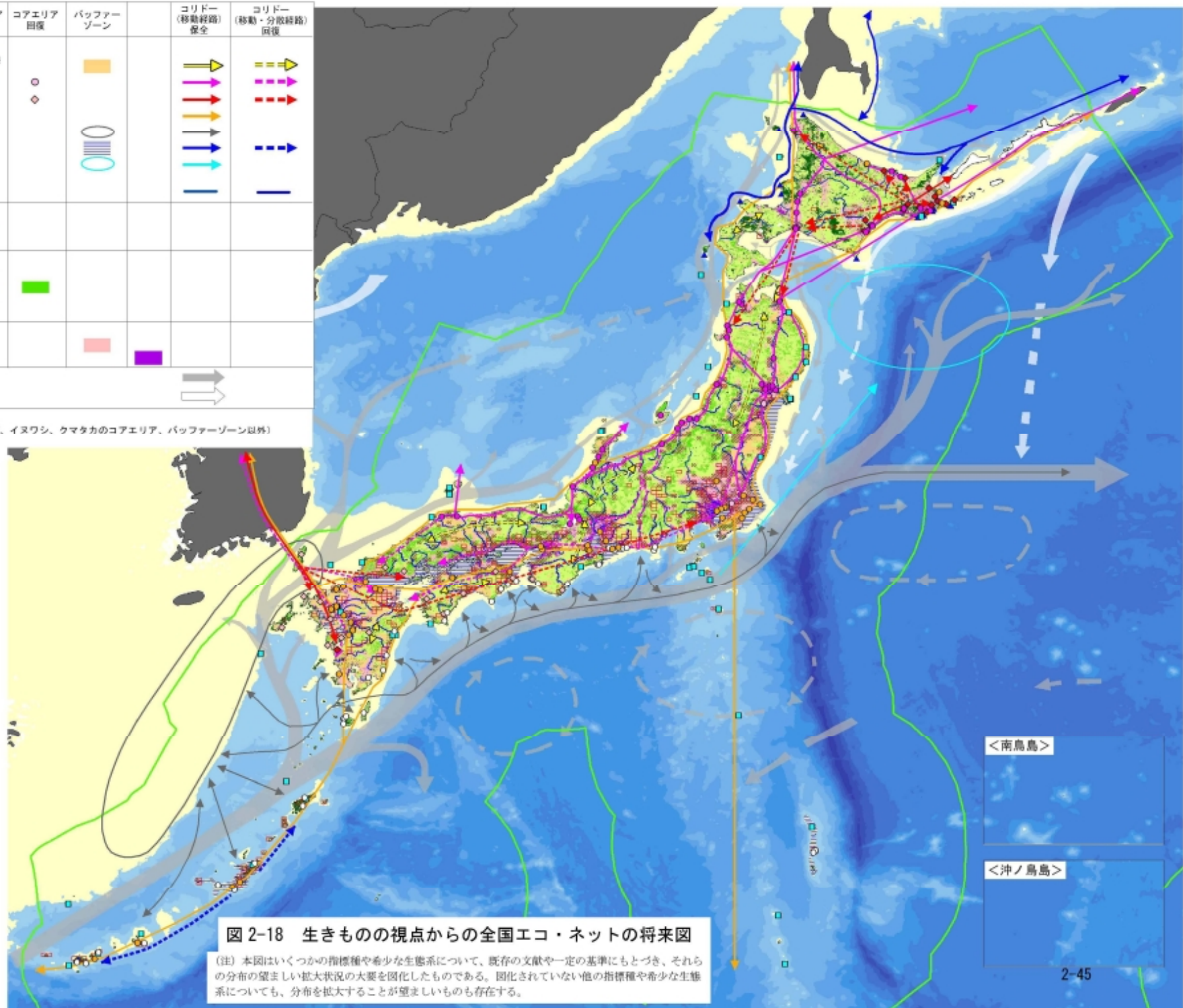


図 2-18 生きものの視点からの全国エコ・ネットの将来図
 (注) 本図はいくつかの指標種や希少な生態系について、既存の文献や一定の基準にもとづき、それらの分布の望ましい拡大状況の概要を図化したものである。図化されていない他の指標種や希少な生態系についても、分布を拡大することが望ましいものも存在する。